

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年2月18日(2021.2.18)

【公表番号】特表2020-505361(P2020-505361A)

【公表日】令和2年2月20日(2020.2.20)

【年通号数】公開・登録公報2020-007

【出願番号】特願2019-538674(P2019-538674)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/66 (2015.01)

A 6 1 K 35/747 (2015.01)

A 6 1 K 35/745 (2015.01)

A 6 1 K 36/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/04 (2006.01)

A 6 1 K 9/48 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

A 6 1 P 3/02 (2006.01)

A 6 1 K 9/19 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/66

A 6 1 K 35/747

A 6 1 K 35/745

A 6 1 K 36/06 A

A 6 1 K 47/04

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/14

A 6 1 P 3/02

A 6 1 K 9/19

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月7日(2021.1.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 乾燥微生物と(b) 粉末形態のリン酸塩とのブレンド物を含有する組成物であって、前記リン酸塩が、 K_2HPO_4 、 KH_2PO_4 、 Na_2HPO_4 、 NaH_2PO_4 、 $MgHPO_4$ 、 $Mg[H_2PO_4]_2$ 、及びこれらの混合物から選択される、上記組成物。

【請求項2】

前記リン酸塩が、 K_2HPO_4 、 KH_2PO_4 、 Na_2HPO_4 、 NaH_2PO_4 、及びこれらの混合物から選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記リン酸塩が、 K_2HPO_4 、 KH_2PO_4 、及びこれらの混合物から選択される、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】

前記リン酸塩が、 HPO_4^{2-} の塩と H_2PO_4^- の塩との混合物である、請求項 1、2、又は 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記リン酸塩が pH 6 ~ 9 に pH 調整される、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 6】

前記リン酸塩が 6.8 ~ 7.2 に pH 調整される、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記リン酸塩が微生物及びリン酸塩の総重量を基準として少なくとも 50 重量%の量で存在する、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記リン酸塩が微生物及びリン酸塩の総重量を基準として少なくとも 60 重量%の量で存在する、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 9】

前記リン酸塩が微生物及びリン酸塩の総重量を基準として少なくとも 80 重量%の量で存在する、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 10】

前記微生物が凍結乾燥されている、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 11】

前記微生物がプロバイオティクスである、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 12】

前記微生物が、乳酸杆菌 (*lactobacilli*)、ビフィズス菌 (*bifidobacteria*)、サッカロミセス (*saccharomyces*)、及びこれらの混合物から選択される、請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 13】

前記微生物が、バシラス・コアギュランズ (*Bacillus coagulans*)、ビフィドバクテリウム・ロングム (*Bifidobacterium longum*)、亜種インファンティス (*infantis*)、ラクトバシラス・アシドフィルス (*Lactobacillus acidophilus*)、ラクトバシラス・パラカゼイ (*Lactobacillus paracasei*)、ラクトバシラス・ジョンソニイ (*Lactobacillus johnsonii*)、ラクトバシラス・プランタラム (*Lactobacillus plantarum*)、ラクトバシラス・ロイテリ (*Lactobacillus reuteri*)、ラクトバシラス・ロイテリ・プロテクティス (*Lactobacillus reuteri protectis*)、ラクトバシラス・ロイテリ・プロデンティス (*Lactobacillus reuteri prodentis*)、サッカロマイセス・ボウラルディ (*Saccharomyces boulardii*)、ラクトバシラス・ラムノサス (*Lactobacillus rhamnosus*)、ラクトバシラス・カゼイ (*Lactobacillus casei*)、ラクトバシラス・プランタラム (*Lactobacillus plantarum*)、ラクトバシラス・パラカゼイ (*Lactobacillus paracasei*)、及びこれらの混合物から選択される、請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 14】

前記微生物がラクトバシラス・アシドフィルス (*Lactobacillus acidophilus*) である、請求項 1 ~ 13 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 15】

請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の組成物を含有する単位微生物用量。

【請求項 16】

前記組成物を含有するカプセルの形態の、請求項 15 に記載の単位微生物用量。

【請求項 17】

前記組成物を含有する小袋の形態の、請求項 15 に記載の単位微生物用量。

【請求項 18】

錠剤の形態の、請求項 15 に記載の単位プロバイオティクス用量。

【請求項 19】

粉末栄養製剤の形態の、請求項 15 に記載の単位プロバイオティクス用量。

【請求項 20】

(i) (a) 乾燥微生物、及び (b) 粉末形態のリン酸塩を準備する工程；並びに
(i i) 前記乾燥微生物と前記粉末形態のリン酸塩とを混合して組成物を得る工程；
を含む、請求項 1 ~ 14 のいずれか 1 項に記載の組成物の調製方法。